

うれしい日も、ハードな日も
いつもファッションを味方につけて

スタイリスト 竹村はま子の 本当に好きな服

竹村はま子
Hamako Takemura

お気に入りの
服を着ていれば、
今日もがんばれる

『STORY』『VERY』で
大人気!! はま子さんの
リアルワードローブが
1冊になりました

光文社

Part 6

いつもと違う私

着なれたカジュアルも落ち着くけれど、いつもとちょっと違う
ドレスアップも、今の自分ならこんな風になしたいな、って色々考えるのが
楽しいですね。どんなシーンでも、自分らしさを大切にしたいですね。



下駄の鼻緒と同じ赤をど
こかに取り入れたくて、
二分紐は落ち着いたスエ
ジ色。ビー玉のような
帯留めとグレーの帯
揚げ、シックな色でまと
めて。

浴衣で夏のプチイベントへ

CASE 1



30代で買った浴衣。 暑を新調して眺っぽく

30代前半に、母と一緒に反物から選んだ「竺仙」の浴衣です。暑で汗ばむと見えやすく、顔周りを明るく映し出す。白が多い柄をチョイス。実は以前からPinterestでお気に入りリストをつけていて、探してもらいました。涼しげで、立体感のある扇何枚模様。メグロメ編みは「アハカ」といって、天然綿素材で、ナチュラルな色もひびき。浴衣を格上げしてくれて、存在感があります。アハカ八丈帯 ¥95,000 (京都一加東銀座店) 帯揚げ (夏東雲結・ねすみ) ¥9,900、帯留め ¥5,500 (CHIKA YAMAZAKI 氷玉みずいろ)、二分結 (小豆) ¥7,000 (THE YARD) (以上3点はすべてTHE YARD Shibuya MODI)。下駄 (スタイリスト私物)、バッグ (祖母の手紙り受けたもの)